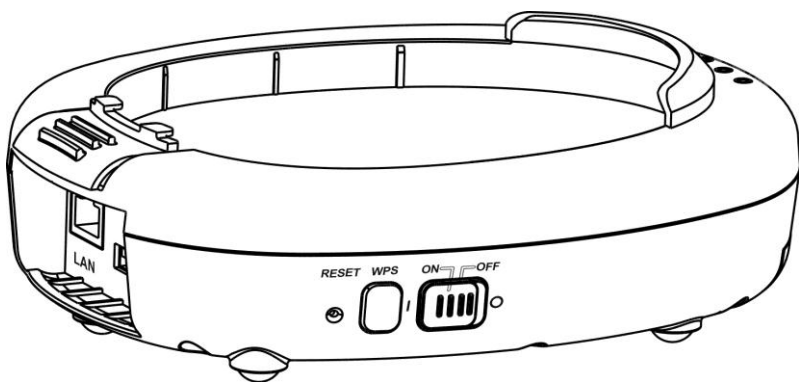


DC-W50 ワイヤレスドッキング

ユーザーマニュアルー日本語



[重要]

クイックスタートガイド、多言語によるユーザーマニュアル、ソフトウェア、またはドライバなどの最新バージョンをダウンロードするには、Lumens の <http://www.Mylumens.com/support.php> にアクセスしてください

目次

著作権情報	2
第 1 章 安全上の指示	3
安全上の注意	4
FCC 規制	4
EN55022 (CE 放射)警告	5
第 2 章 パッケージ内容	6
第 3 章 製品概要	7
3.1 DC-W50	7
3.2 USB コネクタホルダーの固定	8
第 4 章 LED インジケータの説明	9
第 5 章 設置と接続	10
5.1 取り付けの流れ図	10
5.2 アプリケーションソフトウェアのインストール	11
5.3 DC125 のインストール	12
第 6 章 使用の開始	13
6.1 ワイヤレス接続の開始	14
6.1.1 手動接続	15
6.1.2 WPS 接続	15
6.1.3 SSID の変更	15
6.2 ファイアウォール設定の変更	16
6.2.1 Windows XP	16
6.2.2 Windows 7	16
6.2.3 Windows 8	18
6.2.4 MAC OS X 10.7 / 10.8 / 10.9	18
第 7 章 管理メニュー	20
7.1 ワイヤレス	20
7.1.1 基本	20
7.2 システム	21
第 8 章 AP 使用のための DC-W50 の設定	24
8.1 接続図	24
8.2 装置の要件	24
8.3 DC-W50 のセットアップ	24
第 9 章 トラブルシューティング	27

著作権情報

Copyrights © Lumens Digital Optics Inc.、全権留保。

Lumens は、Lumens Digital Optics Inc.の登録商標です。

Lumens Digital Optics Inc.からの授権がない限り、製品購入後のバックアップの目的以外、このファイルを複写、複製または転送することが禁止されます。

製品を改良し続けるために、Lumens Digital Optics Inc.は事前の通知なしに製品仕様を変更する権利を留保します。このファイルの情報は事前の通知なしに変更される場合があります。

この製品の使用法を正しく説明または記述するために、本マニュアルには他の製品名または会社名に言及する場合があります。その場合、いかなる権利侵害の意図もありません。

保証の免責事項:Lumens Digital Optics Inc.は、発生しうるいかなる技術的な編集上の誤りまたは脱落に対する責任も負わず、また、このファイル提供あるいはこの製品の使用または操作から生じるいかなる偶発的または関連する損傷に対しても責任を負いません。

第 1 章 安全上の指示

製品使用時には以下の安全に関する指示に従ってください：

1. 操作

- 1.1 製品は推奨動作環境で使用してください。
- 1.2 傾斜した場所に Light Engine を置かないでください。
- 1.3 製品を不安定な台車、スタンドまたはテーブルの上に置かないでください。
- 1.4 本製品を水または熱源の近くで使用しないでください。
- 1.5 アタッチメントは推奨する方法でのみ使用してください。
- 1.6 本製品に記載してある電源タイプを使用してください。使用可能な電源のタイプが分からない場合は、ディーラーまたは最寄の電気会社に相談してください。
- 1.7 プラグを扱うときは常に以下の安全上の注意事項に従ってください。注意に従わないと火花が散ったり火災が発生する恐れがあります。
 - プラグをソケットに挿す前に埃が付着していないことを確認してください。
 - プラグがソケットにしっかりと挿入されていることを確認してください。
- 1.8 発生の可能性のある危険を回避するために、壁コンセント、延長コードまたはマルチウェイプラグボードに過大な負荷を掛けないでください。
- 1.9 本製品のカバーにあるスロットまたは開口部を塞がないでください。換気が不十分な場合、本製品が過熱する可能性があります。
- 1.10 本ユーザーマニュアルで具体的に指示されている場合を除き、自分でカバーを開けたり外さないでください。感電またはその他の危険が生じる場合があります。修理はすべて資格のある修理担当者にお任せください。
- 1.11 以下に記載した状況が発生したときは、HD カメラの電源プラグを壁コンセントから抜いて、資格のある修理担当者に修理を依頼してください：
 - 電源コードまたはプラグが損傷しているか擦り切れている場合。
 - 液体が製品内部にこぼれた場合、または製品が雨または水に晒された場合。

2 取り付け

- 2.1 適切な換気装置がない場合、本製品を組み込む方法で取り付けないでください。

3 バッテリー

- 3.1 本製品のバッテリーは故障した場合、取り外すことができません。メンテナンスについては製造元の工場にお問い合わせください。
- 3.2 インジケーターが赤色で明滅して出力低下を示しているときは、製品を使用しないでください。このような状態で使用を続けると、バッテリーの充電容量に影響

響を与える場合があります。

- 3.3 製品の充電によって過熱が生じることがあります。換気の不十分な場所に製品を設置しないでください。

4 保存(Storage)





- 4.1 コードを踏むような場所に製品を設置しないでください。コードまたはプラグが擦り切れたり損傷する可能性があります。
- 4.2 キャビネットのスロットにどんな種類の物も押し込まないでください。製品内部にどんな種類の液体もこぼさないでください。
- 4.3 雷が鳴っているとき、または長期間使用しない場合は、本製品の電源プラグを抜いてください。
- 4.4 本製品または付属品を振動する機器または加熱された物体の上に置かないでください。

5 洗浄

- 5.1 洗浄前にすべてのケーブルを取り外してください。洗浄には湿った布を使用してください。液体やエアゾール洗剤は使用しないでください。

■ 安全上の注意

警告 1: 火災または感電の危険を減らすために、この装置を雨または湿気に晒さないでください。

	<p>注</p> <p>感電の危険性 ご自身で内部を開けないでください。</p>		
<p>注意: 感電の危険を減らすために、カバー(または後部カバー)を外さないでください。機器の内部にはユーザーが修理できる部品はありません。修理は資格のある修理担当者にお任せください。</p>			
	<p>このシンボルは、この装置には感電を引き起こす可能性のある危険な電圧が使用されることを示しています。</p>		<p>このシンボルは、本ユニットに対するこのユーザーマニュアルに重要な操作およびメンテナンス手順が含まれていることを示しています。</p>

■ FCC 規制

この装置は、FCC 規則のパート 15 に基づいてテストされ、クラス A デジタル機器に関する制限に準拠することが認められています。これらの制限は、装置が商業的環境で操作されるときに有害な干渉に対する合理的な保護を提供するように作成されています。この装置は、無線周波数帯域のエネルギーを発生、利用するものであり、これを放

射する可能性もあります。取扱説明書の指示に従って設置および利用しない場合、無線通信に有害な電波障害を引き起こすおそれがあります。住宅地域で本装置を操作すると有害な干渉を引き起こす可能性があります。その場合、ユーザーは自費で干渉を防止する処置を施す必要があります。

FCC 放射暴露規制

本装置は非管理環境に対して明記された FCC 放射の暴露制限に準拠しているとともに、FCC RF 規制のパート 15 にも準拠しています。本装置は与えられた指示に従って設置および操作する必要があります。また、この送信器に使用されるアンテナは人との距離が 20 cm 以上となるように取り付ける必要があります、その他のいかなるアンテナまたは送信器とも一緒に同一場所に配置または動作させてはいけません。非適用声明書以外のアンテナ設置に関する指示をエンドユーザーと設置者に提供しなければなりません。

本装置は FCC 規制のパート 15 に準拠しています。動作は以下の 2 条件に従います：
(1)この機器は有害な干渉を起こさない。(2)この機器は好ましくない操作による干渉を含むすべての干渉に対応する必要がある。

注意

適合性に責任を負う関係者によって明示的に承認されない変更または改造を行うと、装置を操作する権限が消失する場合があります。

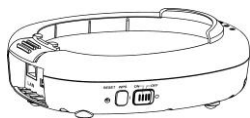
■ EN55022 (CE 放射)警告

この製品は、商業、工業、または教育的環境において使用するよう設計されています。住宅向けには設計されていません。

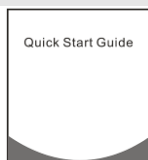
この装置はクラス A 製品です。住宅環境で、この製品は電波障害を引き起こすことがあります。そのようなケースでは、ユーザーが適切な対策を実施しなければならないことがあります。一般的には、会議室、応接室またはホールで使用されます。

第 2 章 パッケージ内容

DC-W50

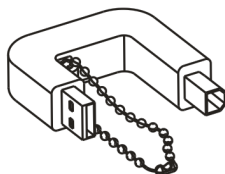


クイックスタートガイド

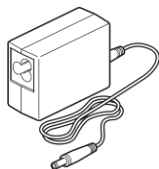


(他の言語バージョンをダウンロードするには、Lumens のウェブページにアクセスしてください)

USB コネクタホルダー



アダプタ



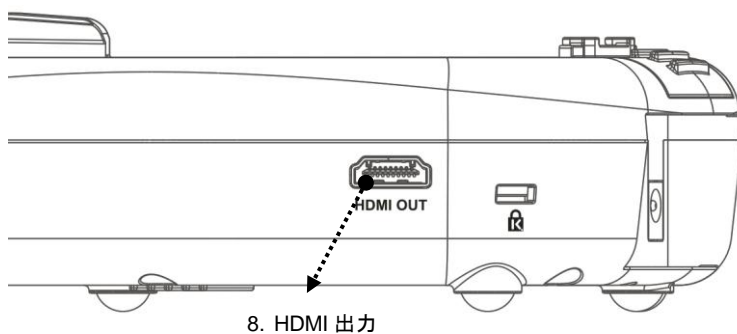
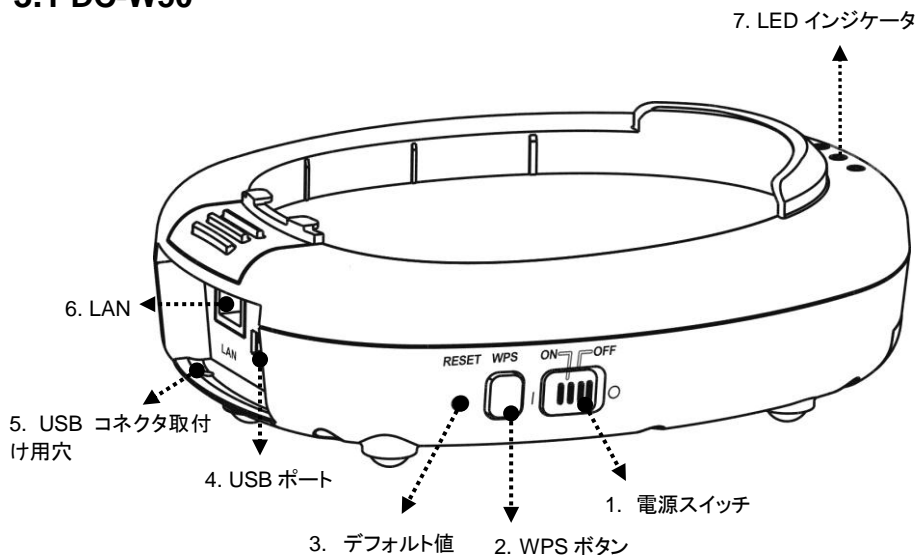
電源コード



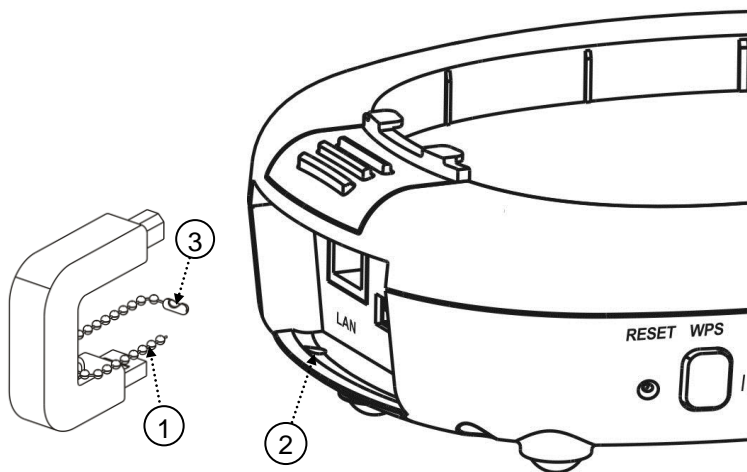
外観は国/地域によって異なることがあります

第3章 製品概要

3.1 DC-W50

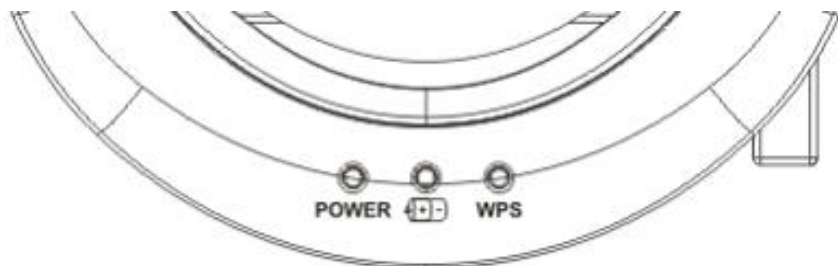


3.2 USB コネクタホルダーの固定



1. USB コネクタホルダーのボールチェーンを外します。
2. DC-W50 のコネクタ取付け用穴にボールチェーンを通します。
3. ボールチェーンを留めます。

第 4 章 LED インジケータの説明



4.1 電力: インジケータライトは正常状態では青色で点灯します。

4.2 電力ステータス (電池アイコン):

4.2.1 未点灯: 電力ゼロ

4.2.2 青色の光: フル電力

4.2.3 赤色の光: 低電力

4.2.4 青色で明滅: 装置の電源が入っている、または充電ステータスにあるとき。電力が不十分なときに充電すると赤色で点滅します。

4.3 WPS:

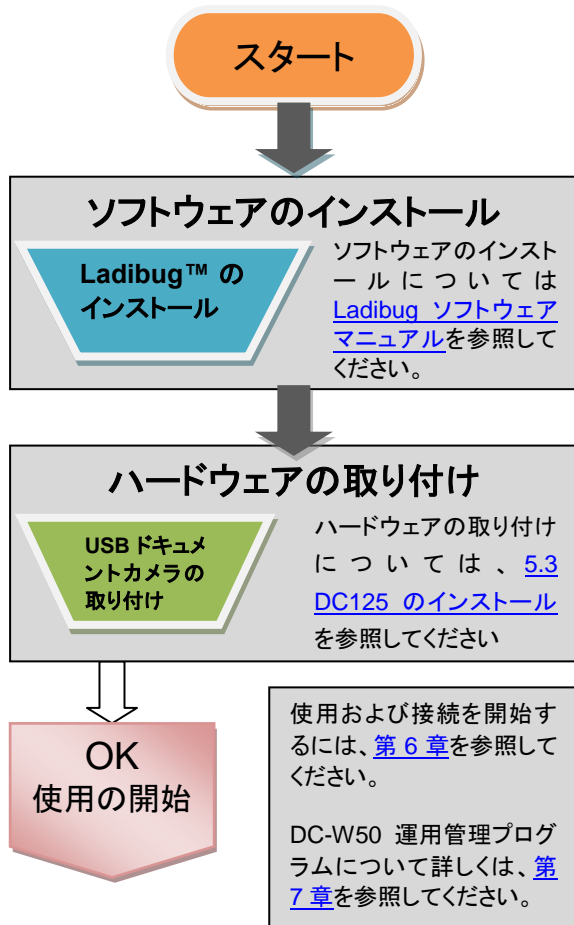
4.3.1 赤色で明滅: 接続の検出

4.3.2 青色の光: WPS 機能が有効

第 5 章 設置と接続

5.1 取り付けの流れ図

本製品は当社の特殊ソフトウェア **Ladibug** および **USB Document Camera** と一緒に使用する必要があります。下図に示す指示に従ってインストールおよび使用してください。



5.2 アプリケーションソフトウェアのインストール

5.2.1 システム要件

Windows XP	Windows Vista / Windows 7 / 8	MAC OS X 10.7 / 10.8 / 10.9
<ul style="list-style-type: none">● 最小 CPU 要件: Intel Core 2 Duo 2 GHz● 最小メモリ: 1 GB RAM● Direct X 9 対応● 最小 CPU 要件: 1024 x 768● 最小ハードドライブ容量: 1 GB● Windows XP SP2 以降	<ul style="list-style-type: none">● 最小 CPU 要件: Intel Core 2 Duo 2 GHz● 最小メモリ: 1 GB (32 ビット)/2 GB (64 ビット)● Direct X 9 および WDDM 1.0 対応● 最小 CPU 要件: 1024 x 768● 最小ハードドライブ容量: 1 GB	<ul style="list-style-type: none">● 最小 CPU 要件: Intel Pentium® 2 GHz Intel Core 2 Duo● 最小メモリ: 1 GB 以上の DDR2 667 Hz RAM● 最小 CPU 要件: 1024 x 768● 24 ビットフルカラー ディスプレイ● 最小ハードドライブ容量: 1 GB● QuickTime 7.4.5 以降

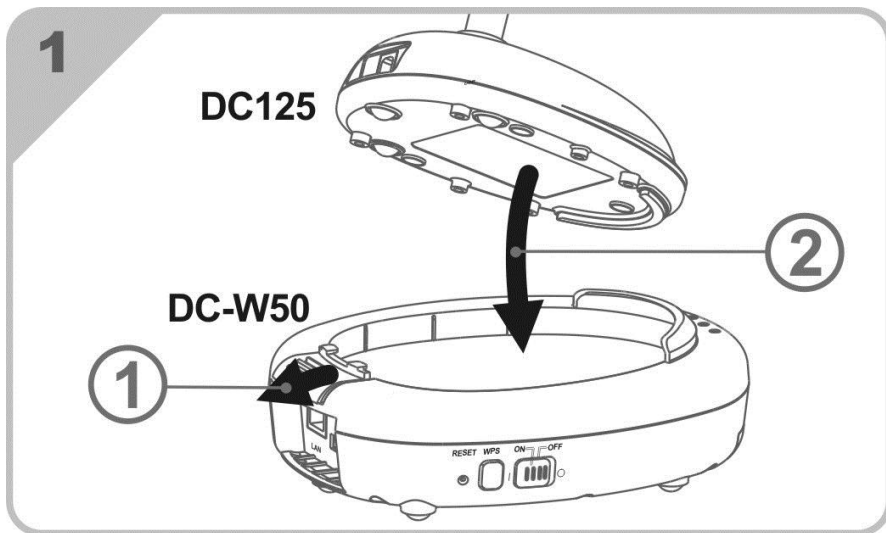
5.2.2 Ladibug™のインストール

Lumens ウェブサイトで、Ladibug™および [Ladibug ソフトウェア マニュアル](#) ソフトウェアをダウンロードしてください。

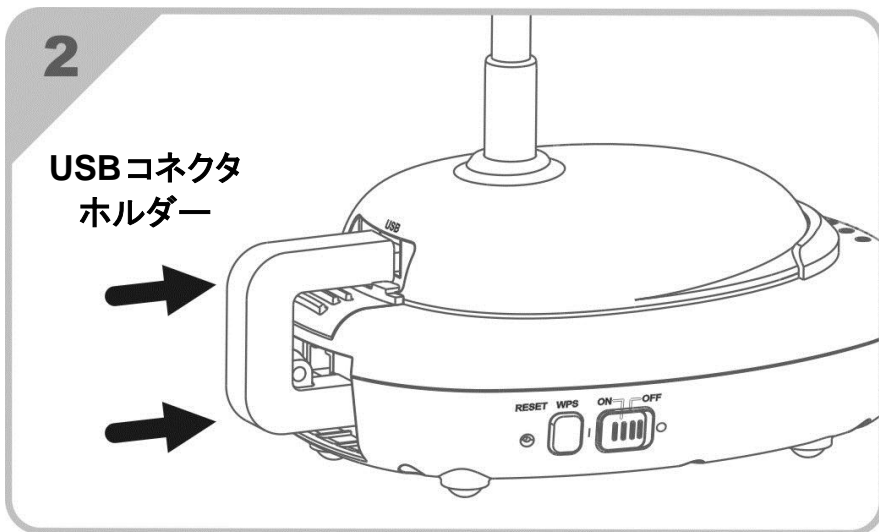
- a. Windows システム: Ladibug PC 3.x 使用してください
- b. MAC システム: Ladibug MAC 3.x 使用してください
- c. iOS システム: App ストアで **Ladibug** を検索してください。iPad では iOS 7.0 バージョン以降を使用する必要があります

5.3 DC125 のインストール

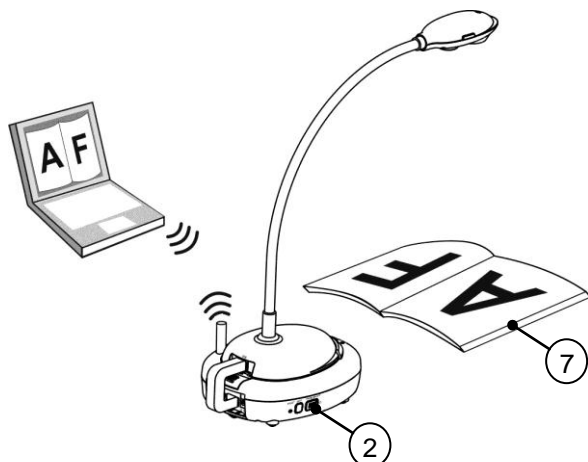
5.3.1 DC-W50 への DC125 の取り付け






5.3.2 DC125 および DC-W50 への USB コネクタ ホルダーの取り付け



第 6 章 使用の開始



1. 最初に使用する前に装置を 3 時間充電してください。
2. 電源を[ON]に切り換えます。(注意: 装置が完全に充電されると、インジケータが青色に点灯します)
3. DC-W50 のコンピュータへの接続を開始するには、[6.1.1 手動接続](#)の手順に従ってください。
4. 最初に使用する前に、[Device Name]と[SSID]を変更してください。変更については、[6.1.3 SSID の変更](#)の手順に従ってください。
5.  アイコンをダブルクリックすると、Ladibug™ソフトウェアが起動します。
6.  をクリックして[Search Window]を開きます。
7. [Wireless Document Camera]を選択して、接続可能な DC-W50 を検索します。リストでの検索が終了したら、[Wireless Document Camera-1] (デフォルト名)をクリックします。
8. アドミニストレータ(Admin)またはビューア(Viewer)を選択してログインします。パスワード[1234] (デフォルトパスワード)を入力し[Log In]を押して接続してください。
 - 最初に使用するときにファイヤーウォール警告が出る場合は、「LAN」を確認して、「アクセスを許可」を押します。
 - 電源周波数設定ページが表示されたら、画面上の指示に従って設定を完了してください。

<注釈>電源周波数を設定する前に、その地域の電圧/周波数を確認することを勧めます。例えば、米国、台湾、日本などでは 60 Hz で、ヨーロッパやその他の地域では 50 Hz です。

<注釈>ドキュメントカメラの操作について詳しくは、[ドキュメントカメラユーザーマニュアル](#)を参照してください。









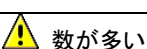
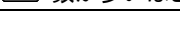

<注釈>Ladibug の操作方法について詳しくは、[Ladibug ソフトウェアユーザーマニュアル](#)を参照してください。

6.1 ワイヤレス接続の開始

[注]ワイヤレス信号の品質を向上させる方法

IEEE 802.11 b/g/n の動作周波数帯は 2.4 または 5 GHz です。近接周波数チャンネルでワイヤレス装置を使用すると相互に干渉します。そのような干渉には同一周波数干渉と近接チャンネル干渉が含まれます。同一空間、およびワイヤレス電話、Bluetooth デバイス、電子レンジ、ネットワーク通信に干渉する可能性のあるその他の装置など、異なるワイヤレス ネットワーク グループ間での干渉を防ぐには、ユーザーのワイヤレス装置の近くにそのような装置がある場合はその電源を切り遠方に移動するか、その装置の周波数チャンネルを 2 以上のチャンネルだけ離れたチャンネルに設定してください。

部屋の壁に使用されている材質、家具の配置、さらにはドアの開閉までもがワイヤレス信号に干渉します。ワイヤレス AP はできる限り障害物のないオープンスペースに設置してください。それが最適な信号カバレッジが得られる最良の場所になります。どの程度信号に影響するかについては、下表を参照してください。

環境物質	影響の程度	同様の環境
空気 木 しっくい	  	仕切り用内壁
アスベスト		天井
一般ガラス		窓
水		養魚槽
レンガ		一般内壁および外壁
大理石		床
セメント/コンクリート		床、外壁
金属		鋼製キャビネットと鋼製コンパートメント
 数が多いほど、影響の程度が大きくなります		

6.1.1 手動接続

- コンピュータのワイヤレスネットワークリストを開きます。iPad ユーザーの場合、[Settings] -> [Wifi]に移動してワイヤレスネットワークを選択します。
- ネットワークリストで[Lumens_Wireless_Flyer]を選択し、[Connection]をクリックしてから、接続用パスワード(プリセット パスワード[ladibugflyer])を入力して接続を開始します。

6.1.2 WPS 接続

- コンピュータ上のワイヤレスネットワークリストを開きます。
- ネットワークリストで[Lumens_Wireless_Flyer]を選択し、[Connection]を押してから、DC-W50 の WPS を押すと、WPS のライトが青色になった後に接続が完了します。

[注釈] WPS は高セキュリティレベルの暗号化モードのみをサポートします。
WPS で接続するには、デフォルトで使用するか、暗号化モードを WPA または WPA2 に変更して DC-W50 の設定を変えます。

6.1.3 SSID の変更

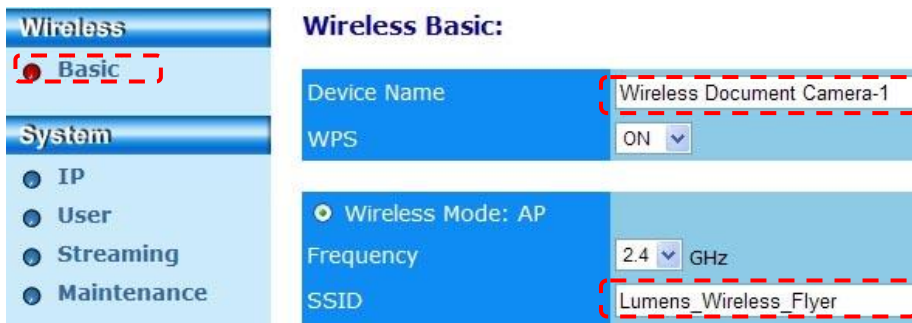
- Internet Explorer のウェブブラウザを開き、アドレスバーに[192.168.1.1] (デフォルト) を入力します。
- ログイン名[Admin]を入力します。
- パスワード(デフォルトでは[1234])を入力して、[Login]ボタンをクリックします。
- [Basic]ページに入ります。
- 新しい[Device Name]と[SSID]を入力して、[Save]をクリックして変更を適用します。

[注] 装置名と SSID 名には英文字と数字を使用してください。

装置名:ドキュメント カメラのデバイス名

SSID:ワイヤレスネットワークのデバイス名

- 再接続については、[6.1.1 手動接続](#)を参照してください。



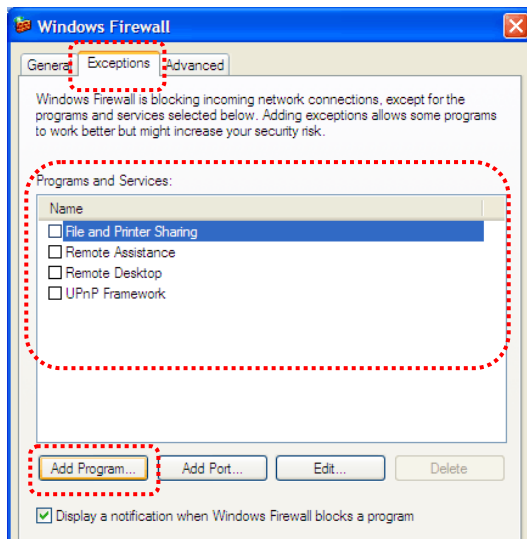
6.2 ファイアーウォール設定の変更

6.2.1 Windows XP

- [Start]メニューで[Console]を選択します。
- [Information Security Center]をクリックし、[Windows Firewall]をクリックします。

[注釈] [Console]の従来のビューで[Windows Firewall]をクリックします。

- [Windows Firewall Setting]ウィンドウで、[Exceptions]タブをクリックします。



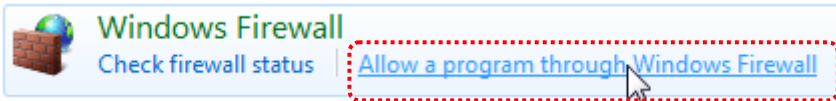
- 必ず、[Programs and Services]で **Ladibug** を選択して、[OK]をクリックしてください。
- [Programs and Services]に **Ladibug** がリストアップされていない場合は、[Add Program]をクリックします。
- Ladibug** プログラムを選択して、[OK]をクリックします。Ladibug プログラムがリストアップされていない場合、[Browse]をクリックし、**Ladibug** プログラムを選択して、[Browse]をクリックします。

[注釈] Ladibug View が Ladibug.exe の形式で表示されることがあります。

- [Windows Firewall Setting]を終了し、ソフトウェアの使用を開始します。

6.2.2 Windows 7

- [Start]メニューで[Console]を選択します。
- [Allow a program through Windows Firewall]をクリックし、[System and Security]をクリックします。



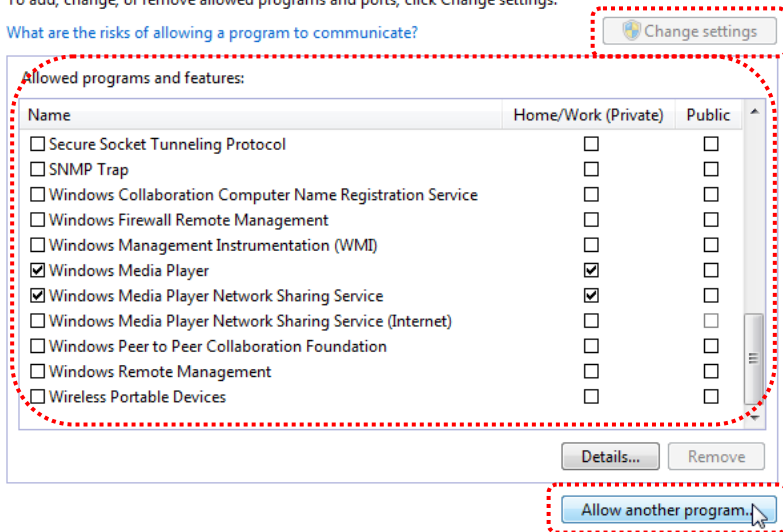
[注釈] [Console]のアイコンビューで[Windows Firewall]をクリックします。

- c. [Allowed programs and features]ウィンドウで[Change settings]を選択します。

Allow programs to communicate through Windows Firewall

To add, change, or remove allowed programs and ports, click Change settings.

What are the risks of allowing a program to communicate?



- d. リストで **Ladibug** プログラムを選択してください。
- e. **Ladibug** プログラムがリストアップされていない場合、[Allow another program]をクリックしてください。**Ladibug** プログラムがリストアップされます。
- f. **Ladibug**を選択して、[Add]をクリックします。**Ladibug**プログラムがリストアップされていない場合、[Browse]をクリックし、**Ladibug** プログラムを選択して、[Browse]をクリックします。

[注釈] Ladibug View が Ladibug.exe の形式で表示されることがあります。

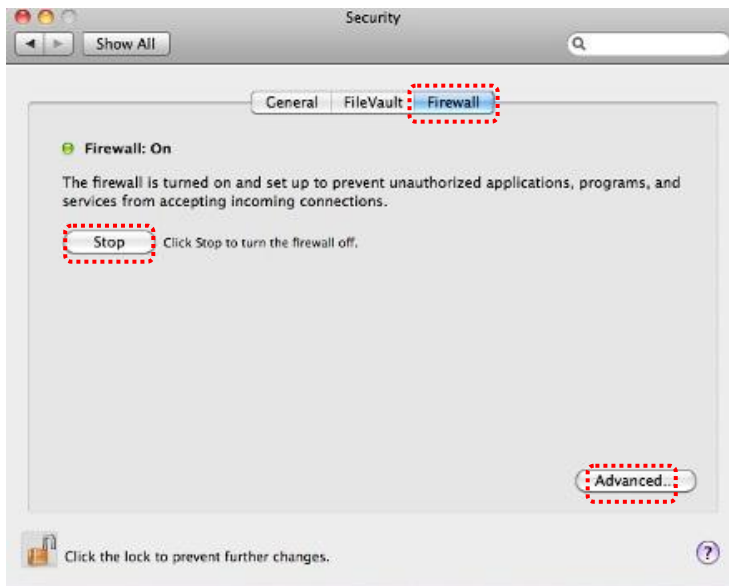
- g. [Allowed Program]ウィンドウで[OK]をクリックします。
- h. [Windows Firewall Setting]ウィンドウを閉じます。

6.2.3 Windows 8

- 画面の右上隅にマウスをポイントし、マウスポインタを下方に移動して、**[Search]** を押し、検索欄にファイアウォールを入力し、**[Allow the Application Program or Function to pass Windows Firewall]** をクリックするか押します。
- [Change Settings]** をクリックするか押します。システムは、ユーザーのシステム アドミニストレータパスワードを尋ねるか、ユーザーの選択を確認することがあります。
- 許可されたアプリケーション プログラム リストで、**Ladibug** を見つけ、アプリケーションプログラムのそばのチェックボックスをチェックしてから、**[Confirm]** をクリックするか押します。

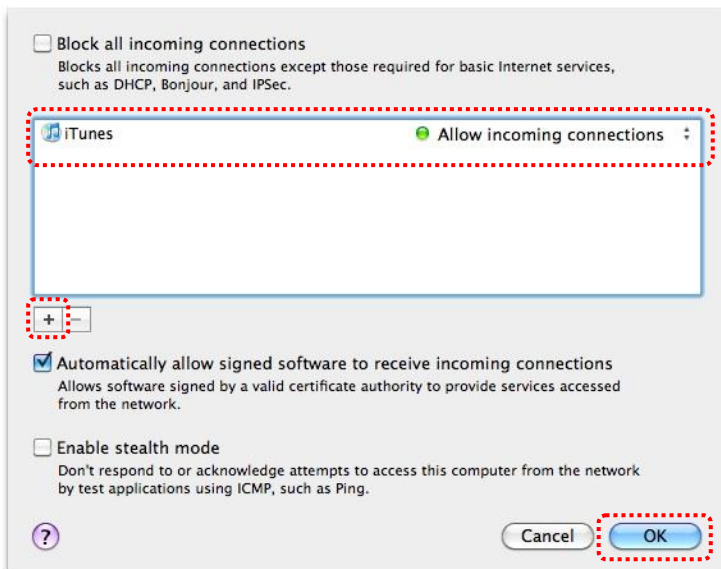
6.2.4 MAC OS X 10.7 / 10.8 / 10.9

- Apple メニューから**[System Preferences]** の設定を選びます。
- [Security]** をクリックします。
- [Firewall]** タブをクリックします。



- 左下の角にあるロックのアイコンをクリックしてパネルをアンロックして、管理者のユーザー名およびパスワードを入力します。
- [Start]** をクリックしてファイアウォールを有効にします。

- f. 右下隅にある[Advanced]をクリックします。
- g. [Automatically allow signed software to receive incoming connections]を選択します。
- h. リストで *Ladibug* を[Allow incoming connections]に変更します。ソフトウェア名がリストアップされていない場合、[+]をクリックして新しいプログラムをリストに追加し、ソフトウェアの使用を開始します。



第7章 管理メニュー

7.1 ワイヤレス

7.1.1 基本

ウェブページに入ると、[Basic]ページが表示されます。DC-W50 の現在の設定を確認および変更することができます。

Wireless Basic:

1 Device Name: Wireless Document Camera-1

2 WPS: ON

3 Frequency: 2.4 GHz

4 SSID: Lumens_Wireless_Flyer

5 Channel: 6

6 Encryption: WPA-PSK/WPA2-PSK

7 Password: ladibugflyer (8~63 ASCII characters)

8 SSID: Lumens_Wireless_Flyer

9 Encryption: WPA-PSK/WPA2-PSK

10 Password: ladibugflyer (8~63 ASCII characters)

番号	項目	機能の説明
1.	Device Name	ドキュメントカメラのデバイス名を設定します
2.	WPS	WPS 機能をオン/オフします
Wireless Mode: AP		DC-W50 が AP または単一装置での使用に対して設定されているときのセットアップ項目
3.	Frequency	2.4 GHz/5 GHzの周波数帯設定
4.	SSID	ワイヤレスネットワークのデバイス名を設定します
5.	Channel	2.4 GHzチャンネル: 1 ~ 11 5 GHzチャンネル: CH 149 5745 MHz、CH 153 5765 MHz、CH 157 5785 MHz、CH 161 5805 MHz、CH 165 5825 MHz
6.	Encryption	暗号化モード設定
7.	Password	接続用のパスワードをAPに設定します
Wireless Mode: Client		DC-W50 がクライアント使用に対して設定されているときのセットアップ項目
8.	SSID	ワイヤレスアクセスポイントのデバイス名
9.	Encryption	暗号化モード設定
10.	Password	ワイヤレスアクセスポイントに接続するためのパスワードを入力します

7.2 システム

7.2.1.1 IP-LAN

ネットワーク設定ページ



Wireless LAN:

- Basic
- System
 - IP
 - User
 - Streaming
 - Maintenance

① IP Address 192.168.9.1

② Subnet Mask 255.255.255.0

③ DHCP Enable

④ DHCP Address Range 192.168.9.101 - 192.168.9.131

番号	項目	機能の説明
1	IP	IPアドレス設定
2	Subnet Mask	ネットマスク
3	DHCP	DHCP 機能をオン/オフします
4	DHCP Server Address Range	使用可能なアドレス範囲

7.2.1.2 ユーザー-ユーザー構成

ウェブページ パスワード変更用の管理ページ



Wireless User Configure

- Basic
- System
 - IP
 - User
 - Streaming
 - Maintenance

① Administrator Admin

② Password

③ Password(Confirm)

番号	項目	機能の説明
1	Administrator	ウェブページ管理アカウント(変更不可)
2	Password	新しいパスワード
3	Password (Confirm)	構成用パスワードの再入力

7.2.1.3 ストリーミング

このページでソフトウェアの更新、デフォルト値への復帰および装置の再起動を行うことができます。

Lumens™
Brighter Teaching

Wireless

- Basic

System

- IP
- User
- Streaming**
- Maintenance

Streaming:

- Video Resolution: 1920x1080
- Video Frame Rate: High (30/20 fps)
- Video Max Bitrate: 5000 kbps
- Port Number: 8557

Save Cancel

番号	項目	機能の説明
1	Video Resolution	解像度設定
2	Video Frame Rate	フレームレート設定
3	Video Max Bitrate	ビットレート設定
4	Port Number	COMポート設定

7.2.1.4 メンテナンス

このページでソフトウェアの更新、デフォルト値への復帰および装置の再起動を行うことができます。

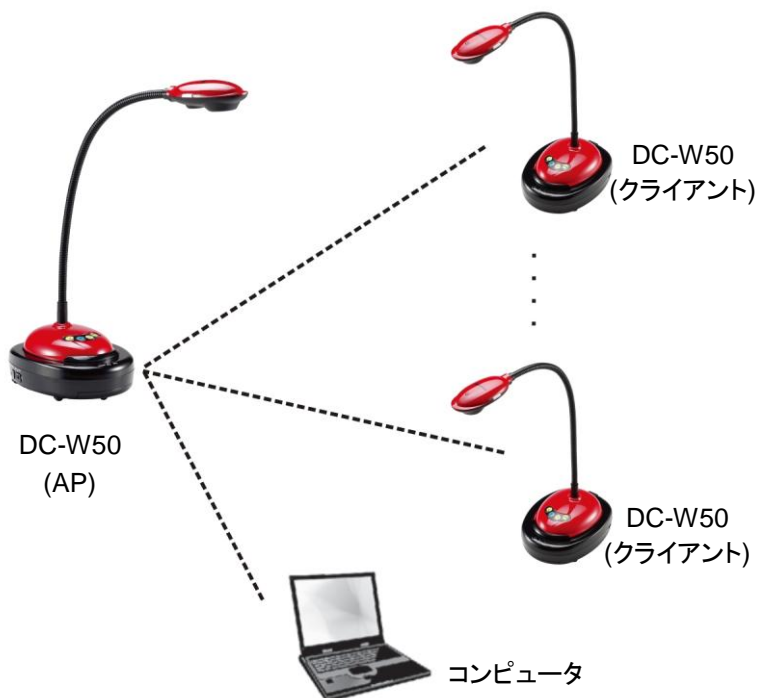
The screenshot shows a web interface with a left sidebar containing menu items: Wireless, System, IP, User, Streaming, and Maintenance. The 'Maintenance' item is selected. The main content area is titled 'Upgrade:' and contains a 'Current Version' field with the value 'DMK052' and a 'Reboot/Reset:' section with 'Reboot' and 'Reset to factory default' buttons. Below this is a 'Status:' section with a 'Read Error Code' button. Red circles with numbers 1 through 5 are overlaid on the interface to indicate the sequence of actions: 1 on 'Current Version', 2 on 'Image File', 3 on 'Reboot', 4 on 'Reset to factory default', and 5 on 'Read Error Code'.

番号	項目	機能の説明
1	Current Firmware Version	DC-W50 ファームウェアバージョン
2	Image File	更新済みファームウェアファイルをアップロードします
3	Reboot	DC-W50 を再起動します
4	Reset to factory default	デフォルト値にリセットします
5	Read Error Code	装置の異常により発生するエラーコードを読み取ります

第 8 章 AP 使用のための DC-W50 の設定

この接続方法を使用すると、AP ターミナルでの DC-W50 を介して複数の DC-W50 を制御できます。

8.1 接続図



8.2 装置の要件

- 2 台以上の DC-W50
- 1 台のコンピュータ
- 1 台のルーター(ネットワーク要件によって異なります)

8.3 DC-W50 のセットアップ

8.3.1 DC-W50 ホストのセットアップ

- a. DC-W50 ホストの電源を入れます

- b. コンピュータのワイヤレスネットワーク リストを開き、[Lumens_Wireless_Flyer]を接続し、接続パスワード[ladibugflyer]を入力して、ネットワーク接続を完了します。
- c. ウェブブラウザを開き、アドレスバーに[192.168.1.1]を入力します。
- d. ログインアカウント[Admin]とパスワード[1234]を入力します。
- e. [Basic]ページに入り、AP の[Device Name]および[SSID]を変更します。

Wireless Basic:

Device Name	Wireless Document Camera-1
WPS	ON
Wireless Mode: AP	
Frequency	2.4 GHz
SSID	Lumens_Wireless_Flyer

装置名:ワイヤレスドキュメント カメラ-AP (特注)

SSID:Lumens_Wireless_Flyer_AP (特注)

- f. [Save]をクリックして変更を適用します。

8.3.2 DC-W50 クライアント設定

- a. DC-W50 クライアントの電源を入れます
[注釈] 初期設定では毎回 1 つの DC-W50 クライアントの電源を入れます。
- b. コンピュータのワイヤレスネットワーク リストを開き、[Lumens_Wireless_Flyer]を接続し、接続パスワード[ladibugflyer]を入力して、ネットワーク接続を完了します。
- c. ウェブブラウザを開き、アドレスバーに[192.168.1.1]を入力します。
- d. ログインアカウント[Admin]とパスワード[1234]を入力します。
- e. [Basic]ページに入り、[Device Name]を変更します。

装置名:ワイヤレス ドキュメント カメラ-クライアント-1 (特注)


Wireless	Wireless Basic:
Basic	Device Name
System	WPS
	Wireless Document Camera-1
	ON

- f. ワイヤレス モードを[Client]として選択し、AP の SSID [Lumens_Wireless_Flyer_AP]と接続パスワード[ladibugflyer]を入力します。

Wireless Mode: Client	
SSID	Lumens_Wireless_Flyer
Encryption	WPA-PSK/WPA2-PSK
Password	ladibugflyer (8~63 ASCII characters)

- g. [Save]をクリックして変更を適用します。

8.3.3 使用の開始

- a. コンピュータのワイヤレス ネットワーク リストを開き、[Lumens_Wireless_Flyer]を接続し、接続パスワード[ladibugflyer]を入力して、DC-W50 AP ターミナルとのネットワーク再接続を完了します。
- b. Ladibug ソフトウェアを起動します
- c.  をクリックして[Search Window]を開きます
- d. 「ワイヤレスドキュメントカメラ」を選択して、接続可能な DC-W50 を検索します。リストでの検索が終了したら、1つのDC-W50をクリックして選択し操作を開始します。
- e. 他の DC-W50 に切り換える必要がある場合、[Search Window]を再度開き、その他の DC-W50 をクリックします。

第9章 トラブルシューティング

この章では、DC-W50 を使用しているときに遭遇する問題について説明します。疑問がある場合は、関連する章を参照し、すべての推奨された解決法に従ってください。それでも問題が発生する場合は、販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

番号	問題	解決方法
1	DC-W50 の電源をオンにしても、どのインジケータもオンにならない	DC-W50 のバッテリー出力が十分であることを確認してください (バッテリーインジケータが青色で点灯します)。バッテリー インジケータが赤色で点灯している場合、電源コードを接続して装置を充電してください。
2	自動接続できなかった	6.1.1 手動接続 を参照して手動接続の手順に従ってください。
3	自動接続が常にタイムアウトになる	手動接続を使用してください。 6.1.1 手動接続 を参照してください。
4	DC-W50 接続が行われない	<ol style="list-style-type: none">WLANカードとDC-W50間の信号を妨害する障害物が存在しないこと、およびワイヤレス伝送にとって距離が適切なことを確認して、良好な接続品質を確保してください。WLAN カードが過熱すると、製品が異常な動作を起こすことがあります。本製品を換気の良い場所で使用することをお勧めします。DC-W50 の接続設定が正しいことを確認してください。WEP で暗号化する場合は、設定またはパスワードに間違いがないかどうか確認してください。
5	DC-W50 を接続できるが、DC125 が正常に動作しない	<ol style="list-style-type: none">USB コネクタホルダーが接続されていることを確認してください。DC-W50 の接続を再起動し、USB 接続ホルダーが DC-W50 と DC125 に接続されていることを確認した後、Ladibug™ ソフトウェアを起動してください。
6	Ladibug™ を開くと、プレビュー実行時に真っ黒な画面になる	ワイヤレス ネットワークの使用のために、接続がファイアーウォールによってブロックされている可能性があります。 6.2 ファイアーウォール設定の変更 を参照してください。
7	いずれかの設定を変更すると、コンピュータがクラッシュする場合	<ol style="list-style-type: none">最初に Ladibug™ を閉じてから、設定の変更を開始します。
8	設定が更新されたとき、ウェブページが表示されない	方法 1: ウェブページに再ログインしてください。 方法 2: 再接続については、 6.1.1 手動接続 の手順に従ってください。

		方法3: DC-W50の[Reset]ボタンを5秒間押してください。再起動後、再接続については 第6章 使用の開始 の手順に従ってください。 依然として問題が発生する場合は、販売店にお問い合わせください。
9	2台以上のDC-W50が接続されているとき、対応するDC-W50が識別されない	6.1.3 SSIDの変更 の手順に従ってSSIDを変更してください。
10	パスワードを忘れ、アドミニストレータウェブページにログインできない場合	DC-W50の[Reset]ボタンを5秒間押し保持し、工場出荷時デフォルト値に戻してください。
11	信号が弱い場合の対処法？	<ol style="list-style-type: none"> 1. 良好な接続品質が得られるようにDC-W50の場所を調整してください。 2. アドミニストレータウェブページにアクセスし、信号伝達の妨害を回避するように、DC-W50を異なるチャンネル周波数で設定してください。
12	Ladibugソフトウェア使用時に、DC-W50クライアントが見つからない	DC-W50クライアントをリセットし(再起動が完了するまで、DC-W50の[Reset]ボタンを5秒間押します)、 8.3.2 DC-W50クライアント設定 に従ってリセットし、操作を再開してください。
13	DC-W50の暗号化設定を変更した後、WPSで接続できない	現在、WPSは高セキュリティレベルのWPA/WPA2暗号化モードしかサポートしていません。このため、WEPまたはオフに設定された暗号化はWPSをサポートできません。WPSなしで接続する方法については、 6.1.1 手動接続 を参照してください。
14	アップロード機能が使用できない	アップロード機能が使用できないのは、コンピュータワイヤレスネットワークがDC-W50に接続されているが、インターネットには接続されていないためです。下記の解決方法を参照してください： <ol style="list-style-type: none"> 1. Ladibugの操作完了後に、ワイヤレスネットワークをインターネットに再接続します。これでアップロード機能を使用できます。 2. 追加のネットワークラインを使用してコンピュータをインターネットに接続します。これでLadibugの操作中にアップロード機能を使用できます。